

2016 年*月**日

政府情報システム刷新等ワーキンググループ
相互運用性検討サブワーキンググループ
設置の提言

情報共有基盤推進委員会

行政サービスの相互運用性確保は、利用者視点のサービス構築や効率的で迅速なサービス構築に必須の条件である。そのため、経済産業省は関係府省の参加により情報共有基盤推進委員会を設置し、文字情報基盤と共通語彙基盤の整備を図ってきた。これらの項目は、電子行政分野におけるオープンな利用環境整備に向けたアクションプランの中でも中核的な推進項目とされている。

これまでは、基盤構築の技術的検討が中心であったため経済産業省および情報処理推進機構で検討を行ってきたが、文字情報基盤は国税庁の法人番号付与システムで活用され、共通語彙基盤は、法人ポータル（仮称）、で活用され農林水産省で検討行われているなど政府内での導入フェーズに入ってきている。他府省からの導入等についての問合せも増えてきていることから、政府内での検討のフェーズに入ってきていることから、政府情報システム刷新等ワーキンググループの下に相互運用性検討サブワーキンググループを設置し、相互運用性に関する検討を強化するとともに、各府省担当者が導入経験や課題の共有を図る場を設置することを提言する。

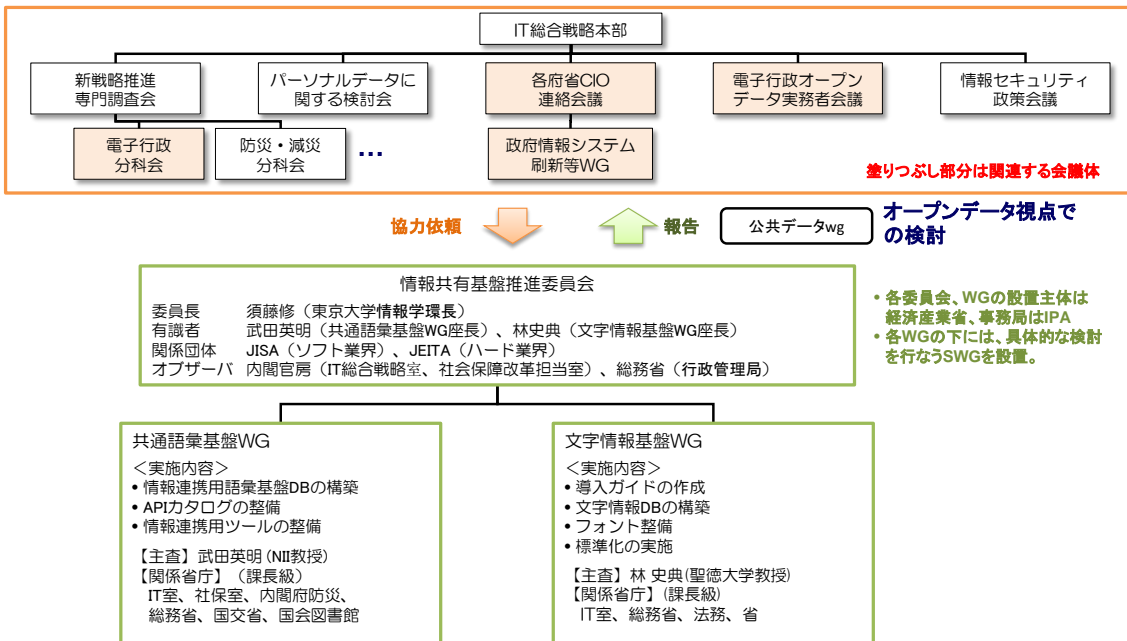
提言内容

- ・ 電子行政刷新ワーキンググループ相互運用性検討サブワーキンググループの設置。
- ・ サブワーキンググループ参加者は、データ基盤の構築等、相互運用性の向上に興味のある府省担当者。
- ・ 開催頻度は四半期から半期に 1 回程度の開催とする。
- ・ 事務局は、内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室が経済産業省および情報処理推進機構の支援を受けて行う。

以上

参考

これまでの体制



今後の体制

